

東京音楽大学付属高等学校

# ユニセフ・チャリティーコンサート

Benefit Concert

## 第1部

■吹奏楽 指揮：汐澤 安彦

R.ヘルツァー(S.ランデル編曲) / 行進曲「ハイデックスブルク万歳！」  
R.Herzer (Arr. S.Rundel) / Marsch "Hoch Heidecksburg"

G.F.ヘンデル(井田唯司編曲) / 歌劇「セルセ」よりラルゴ  
G.F.Händel (Arr. T.Ida) / Serse-Largo

G.ホルスト / 吹奏楽のための第2組曲よりI.行進曲  
G.Holst / Second Suite for Band I.March

E.シャブリエ(M.ハインズレー編曲) / 狂詩曲「スペイン」  
E.Chabrier (Arr. M.Hindsley) / Rhapsodie "España"

## 第2部

■ア・カペラ合唱 指揮：広瀬 宣行

中勘助作詞 多田武彦作曲 / かもめ

高野辰之作詞 岡野貞一作曲(安藤寛子編曲) / 朧月夜

島崎藤村作詞 大中寅二作曲(名田綾子編曲) / 椰子の実

■ヴァイオリン独奏 ヴァイオリン：服部 百音 ピアノ：三又 瑛子

M.ラヴェル / ツィガーヌ(演奏会用狂詩曲)  
M.Ravel / Tzigane (Rapsodie de concert)

■女声合唱

指揮：坂本 和彦 ソプラノ：吉田 美咲子 ピアノ：只野 なつき

北原白秋作詞 山田耕筰作曲 / ペチカ

石川啄木作詞 越谷達之助作曲 / 初恋

北原白秋作詞 山田耕筰作曲 / あわて床屋

宮沢和史作詞・作曲(小原孝編曲) / 島唄

## 第3部

■オーケストラ

指揮：ステファノ・マストランジェロ テノール：ジョン・健・ヌッツォ

G.ヴェルディ / 歌劇「運命の力」より「序曲」  
G.Verdi / La forza del destino - Overture

G.ビゼー / 「アルルの女」第2組曲  
G.Bizet / L'Arlésienne Deuxième suite

G.プッチーニ / 歌劇「トスカ」よりアリア「星は光りぬ」  
G.Puccini / Tosca - E lucevan le stelle

P.マスカーニ / 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より  
「間奏曲」  
P.Mascagni / Cavalleria Rusticana - Intermezzo

G.プッチーニ / 歌劇「トゥーランドット」より  
アリア「誰も寝てはならぬ」  
G.Puccini / Turandot - Nessun dorma!

G.カプッロ作詞 E.ディ・カプア作曲 / オー・ソレ・ミーオ  
Words by G.Capurro Music by E.Di Capua / 'O sole mio

2017 / 12 / 8

金

18:00開演  
(17:30 開場)

入場料：S席 1,500円

A席 1,000円 [全席指定]

東京芸術劇場コンサートホール

「JR」東京メトロ「東武東上線」西武池袋線  
池袋駅西口より徒歩2分。  
地下通路2b出口と直結しています。

東京音楽大学付属高等学校は、黒柳徹子さんの活動に賛同し、この演奏会の収益から入場料の半額をUNICEF(国連児童基金)を通じて世界の子どもたちのために使わせていただきます。

主催：東京音楽大学付属高等学校

後援：豊島区教育委員会・文京区教育委員会・UNICEF(国連児童基金)東京事務所・東京音楽大学後援会・東京音楽大学校友会・東京音楽大学付属高等学校後援会

お問い合わせ：東京音楽大学付属高等学校チャリティーコンサート係 Tel.03-3945-6214

チケット前売(9月7日発売)：東京芸術劇場ボックス・オフィス Tel.0570-010-296 東京音楽大学A館地下サブロケール(店頭販売のみ) Tel.03-5954-1970

## ごあいさつ



UNICEF親善大使  
黒柳 徹子

今年もユニセフ・チャリティーコンサートを開催して下さった付属高校の皆様の世界の子どもや平和を願う優しさと取り組みに、感謝申し上げます。

私のUNICEF親善大使としての活動は、今年で34年目を迎えました。今年5月には、延べ38カ国目の訪問国として、ミャンマーを訪れました。ミャンマーといえば、最近では目覚ましい経済発展のニュースをよく耳にするかもしれませんが、しかし、経済発展の一方で、この国では未だにあちこちで紛争が起こっていて、多くの子どもたちの人生にその影響が及んでいます。私が訪れた北部のカチン州でも少数民族との紛争が長く続いていて、多くの子どもたちが避難民キャンプで暮らしています。私はキャンプや学校を訪れ、避難民となっている子どもたちとお話してきました。争いの中、父親を殺され「夕方になるとお父さんを思い出すと涙をほろほろとこぼしながら話してくれた女の子、地雷で足を奪われても気丈に笑顔を見せる男の子…。ミャンマーの子どもたちの屈託ない笑顔の下には、紛争によって故郷を追われ家族や友達を失った思い出がありました。紛争さえなかったら、この子どもたちの人生はどんなだったでしょう。

出会った子どもの1人が言いました。「私たちが大人になったら、争いのないミャンマーをつくりたい。一人ひとりがけんかをしなかったら、絶対に戦争は起こらないでしょう。宗教が違って、みんなと仲良くしていきます。」そう、未来を担う子どもたちが宗教や民族の違いを乗り越えて、皆と仲よくできたら、平和を心から願ったら、きっと世界は変わっていきます。皆様がこのコンサートを通じて寄付して下さったお金は、UNICEFによって確実に子どもたちとその家族に届き、そして、未来を変えていく力になります。今日は、子どもたちの笑顔が平和な世界の中で輝く日を願いながら、存分に美しい音色に耳を傾けていただけたら幸いです。

## ジョン・健・ヌツツオ [テノール]

2000年に世界三大歌劇場の一つであるウィーン国立歌劇場でデビューし、オーストリア芸術新人大賞「エバーハルト・ヴェヒター・メダル」を受賞。フォルクスオーバー、ザルツブルク音楽祭に出演した後、巨匠ジェームズ・レヴァインの招待によりメトロポリタン歌劇場にデビュー。その活動がTBS系TV番組「情熱大陸」にて放映され、一躍脚光を浴びる。NHK大河ドラマ「新選組」のテーマ曲を歌い、NHK「紅白歌合戦」に2度出演。ハウス食品「六甲のおいしい水」CM出演。天皇皇后両陛下とローマ法皇に歌声を披露した経験をもつほか、MLBやサッカーの国際試合での国歌斉唱もつとめた。これまでグルベローヴァ、ゲオルギュー、ブルゾン、ヌッチ、ケント・ナガノ、ボーニング等と共演。レヴァイン指揮/ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、デュトフ指揮/NHK交響楽団への客演等、国内外のオーケストラと共演。

近年は、広上淳一指揮/札幌交響楽団、大友直人指揮/ジャパン・ウィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラへの客演、「サントリーホール・フェスティバル」、歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」「リゴレット」「ラ・ボエーム」や喜歌劇「メリー・ウィドウ」「こうもり」等へ出演する一方、シューマン「詩人の恋」など歌曲にも取り組む。

2016年は、三大テノールの一人ブラシド・ドミンゴと歌劇「真珠採り」のデュエットや世界的ホルン奏者のラデク・パボラクとプリテン「セレナーデ」の共演に加え、ニューアルバム「イタリアン・アリア」を発売し全国10ヶ所のリサイタルツアーを実施。

本年は、NHKナゴヤニューイヤーコンサートへの出演に加え、京都市交響楽団「バレンタイン・コンサート」とウィーン楽友協会「UTAU DAIKU」への再出演、和楽器とのコラボ、「ベートーヴェン×シューベルト」歌曲リサイタルなどにも取り組み、今後益々の活躍が期待される。

第9回日本声楽コンクール第1位、第13回出光音楽賞受賞、ロサンゼルス・アーティスト・オブ・ザ・イヤー、ロサンゼルスNATS声楽コンクール第1位。

オフィシャルサイト: <http://www.jkn-tenorissimo.com/>

## 吉田 美咲子 [ソプラノ]

東京音楽大学付属高等学校声楽専攻、同大学声楽演奏家コース、同大学院声楽科オペラ研究領域、全て特待奨学生として卒業。在学中、学内オーディション合格者による定期演奏会ソロ部門、第79回読売新聞新人演奏会、音楽大学フェスティバルコンサート等に出演。オペラでは東京音楽大学100周年記念オペラ「フィガロの結婚」花娘1役、大学院オペラ「魔笛」パミーナ役、公益財団法人としまみらい文化財団オペラ「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役、「君と見る夢」斎藤和美役で出演。第10回東京音楽大学コンクール声楽部門第1位。

現在は新国立劇場オペラ研修所に在学中。2016年9月にはANAスカラシップによりミラノで海外研修を積む。成田繪智子、横山恵子、安達さおり、服部容子、國土潤一に師事。

## 服部 百音 [ヴァイオリン]

1999年生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め8歳よりザハール・ブロン氏に師事。2009年リビンスキ・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクールのジュニア部門で史上最年少第1位及び特別賞を受賞。13年にはノヴォシビルスク国際ヴァイオリン・コンクールで最年少グランプリ、15年ボリス・ゴールドシュタイン国際ヴァイオリン・コンクールでグランプリ受賞。国内外で精力的に演奏活動を行っており、15年にはウラディーミル・アシュケナージ指揮、EUユース管弦楽団と共演。16年にはマリンスキー劇場で演奏、名古屋、大阪、東京でリサイタルツアーを行った。

16年デビューCD「ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ワックスマン:カルメン幻想曲」を発表。「レコード芸術」誌特選盤等、高い評価を受けた。

第27回新日鐵住金音楽賞「フレッシュアーティスト賞」を受賞。

使用楽器は上野製薬株式会社より貸与されているピエトロ・ガルネリ。

現在、ザハール・ブロン・アカデミーに在籍。東京音楽大学付属高等学校特別特待奨学生。

## 三又 瑛子 [ピアノ]

仙台市出身。4才よりピアノを始める。桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業。同大学卒業演奏会、室内演奏会に出演。第16回ABC新人コンサート、第78回読売新人演奏会に出演。

2005~2007年、田崎悦子氏主催ピアノワークショップ「Joy of Music in 八ヶ岳」受講。

2012年および2013年、日本音楽コンクール コンクール委員会特別賞(ヴァイオリン部門ピアノ伴奏)受賞。

これまでに、ピアノを庄司美知子、加藤伸佳、田崎悦子、室内楽を加藤知子、加藤洋之の各氏に師事。

桐朋学園大学弦楽部嘱託演奏員。石川ミュージックアカデミー、ミュージックアカデミーinみやざき、笠間国際音楽アカデミーなどで公式伴奏者を務める。NPO法人ハマのJACKメンバー。



## ステファノ・マストラングエロ [客演指揮]

イタリア・ローマ生まれ。両親がオペラ歌手。ローマ・サンタチェチーリア音楽院でホルンとピアノを学ぶ。F.フェッラーラ、J.シノーポリ等に指揮法を師事。世界の主要なコンクールで優勝。サンタ・チェチーリア、ローマ・オペラ座、ミラノ・スカラ座等の歌劇場、TV・ラジオ等のオーケストラやアメリカ、ドイツ、オーストラリア等でも活躍。音楽学者としても、J.シノーポリとの活動は顕著。ベルジャ音楽院、ポローニャ音楽院等で教鞭をとった。常任指揮者、芸術監督としても、マンゾーニ劇場を初め国内外のフェスティバル、オペラ・パッシオン等で活躍。イタリア国から文化勲章授与。日本では、『カルメン』『道化師』『オテロ』『フィガロの結婚』等を指揮。東京藝術大学招聘教授。二期会「イタリアオペラ特別講座」客員講師。

現在、サンタ・チェチーリア音楽院教授。桐朋学園大学音楽学部特任教授。

## 汐澤 安彦 [客演指揮]

東京藝術大学器楽科卒業。同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子登の各氏に師事。当初、バストロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)第2位。1975年、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーに学ぶ。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。中でも、オペラ「夕鶴」(團伊玖磨作曲)の指揮は数多い。これまで、東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として永年、その任にあった。1999年、日本吹奏楽学会/第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞。東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。

## 坂本 和彦 [指揮]

藤原歌劇団・日本オペラ協会指揮者。公益財団法人としま未来文化財団音楽監督。日本指揮者協会事務局長・幹事。日本オペラ振興会歌手育成部講師。指揮者。東京音楽大学、同付属高等学校講師。大学在学中、チューリッヒに留学。同地歌劇場にて4年半に渡り研鑽。1994年、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団、ベルリンドイツ交響楽団にて研鑽を積む。2012年、ローザンヌにてスイスロマンド管弦楽団と共演。2011年8月にデビューした女性だけのパフォーマンソークエストラ「G・Dream21オーケストラ」の音楽監督・指揮者を務める。皇居にて行われた天皇陛下即位20年、御成婚50年をお祝いするにあたり作曲された組曲「太陽の国」(EXILE歌唱)の御前演奏の指揮者を務めた。27年度東京都より文化功労賞を受賞。28年度富山県(芸文協)より文化功労賞を受賞。一般社団法人「日本文化創成協会」理事。

## 広瀬 宣行 [指揮]

東京音楽大学器楽専攻(ピアノ)卒業。1983、84年NHK・FMリサイタルに出演。96年モーツァルトテウム国立音楽大学アカデミーにてコレペティトゥールの研鑽を積む。ヴァイオリンの大谷康子、ヴィオラの兎束俊之、G.ハーマー、トロンボーン近藤孝司、G.ヘルソンスキー、バスの岡村喬生氏等、数多くの一流ソリストと共演。「東京国際ピアノコンクール」「ローゼンストック国際ピアノコンクール」「グレンツェンピアノコンクール」等の審査員を務める。2002~03年、NHK学園にて「ゴスペル講座」の講師。著書に「ピアノ初見演奏法」がある。東京音楽大学准教授及び同付属高等学校講師。全日本ピアノ指導者協会会員。

## 只野 なつき [ピアノ]

東京音楽大学卒業、同大学院鍵盤楽器研究領域(伴奏)修士課程修了。第8回日本アンサンブルコンクール室内楽部門入選。イタリア ポローニャでのコンサート出演や、フランス・クールシュベール夏期セミナーに参加し研鑽を積む。2007年より郷里の福島にて毎年リサイタルを行っている。これまでにピアノを河邊亮子、鷺見加寿子、伴奏法:室内楽を土田英介、水谷真理子、浦川宜也の各氏に師事。現在、東京音楽大学非常勤講師、同付属高等学校講師。弦楽器や声楽の伴奏を中心に室内楽やピアノソロなど幅広く演奏活動を行っている。

